

被爆75周年

ピカドンの爪痕を今に伝える

—長岡省吾という男がいた—



75年前の8月6日、一発の爆弾によって、死の街と化した広島。多くの人が死に、生き残った人にも体や心に大きな爪痕が残された。同じように瓦礫の中にも爪痕を残された石や瓦や無数の品々があった。地質学者の長岡省吾さんは、被爆直後の広島市内で、原爆の熱線にやられた石を集め始め、その姿から原爆の正体を後世に伝えようとした。やがて昭和30年に開館した平和記念資料館の館長に就任し、原爆の悲惨さを訴え続けてきた。しかし、意外とその功績は世に知られていない。被爆75周年、平和記念資料館開館65周年を迎える今年。長岡省吾さんの足跡をたどってみたい。【取材 企画財政課】



「爪痕」 下さんとこには、これとおんなじに奇体に曲がったビール瓶じゃの、ホルンのように丸くなってしまった一升瓶じゃの、何十本もあるのがの。他にも、熱で表面が溶けて泡立っとる石燈籠、針の影が文字盤に焼きついとる大時計……。」

作家の井上ひさしさんの『父と暮せば』という戯曲の一節だ。ここには、原爆が投下された焼け野原で、原爆瓦を拾い集める男のことが語られている。この男の姿と、実在した一人の男の姿とが重なる。その人の名は、長岡省吾。平和記念資料館の初代館長だ。

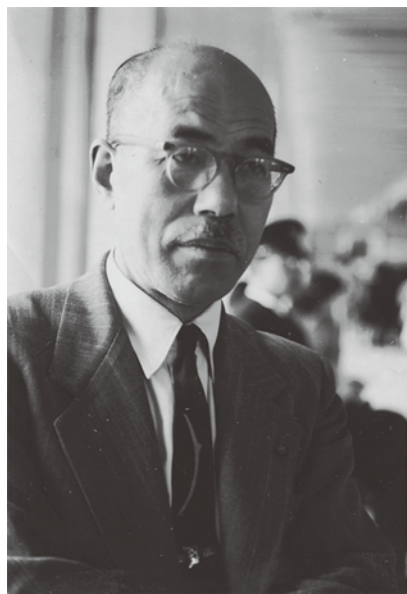
ハルビンで地質学を学ぶ

明治34年、ハワイ移民の子として生を受けた長岡さんは、幼いころに帰国し、父親の故郷である佐伯郡玖波村に住むことになった。旧制の修道中学校に進み、16歳で単身中国のハルビンに渡った。そこで地質学や鉱物学を学び、陸軍特務機関やハル濱博物館、地質学研究所などを経て、昭和15年に一家で帰国。関西の尼崎に居を構えながらも、仕事で大陸を歩き来する多忙な日々だったという。「父はめったに家にはいない人でした」と、五女の世良

禎子さん（88歳 廿日市市）は思い返す。そんな長岡さんだが、子どもたちをかわいがり、犬や鳥を飼う優しい一面を持っていたようだ。昭和19年、郷里に戻った長岡さんは、広島文理科大学（現・広島大学）の地質学鉱物学教室に、授業囁託の職を得る。学生に講義をするだけでなく、実地調査も任されていた。戦争末期、玖波の家には、教授や学生たちが疎開しており、大勢の家族と寝食をともしていたという。食事も「そうめんなどは、パケツに入れて食べるようだった」と世良さんは話す。

大空覆う暗雲

8月6日、長岡さんは軍の物資を船舶輸送する曙部隊からの命を受け、山口県上関に学生たちと地質調査に出かけていた。連日の調査の疲れで、うとうとしているとき「ドン」という爆発音で目覚めた。朝食を運んできた当番兵の「岩国方面に大火柱が上がり、目下燃焼しています」という言葉に、不安を覚え外に出てみると、暗雲と思われる入道雲が大空を覆っていたと、長岡さんは回想している。次々と悪い情報もたらされるため、調査を中止して柳井港に上陸した。遅延している汽車に乗り、やっとのこと玖波駅にたどり着くと、知人から「長岡さんまあ良く……」傷一つ受けずに……と声を掛けられた。このとき、広島に落ちた爆弾で街が壊滅したと、ようやく知った。急ぎ自宅に戻り家族の無事を確かめる。当日、建物疎開の動員で広島市内へ行くことになっていた予定が変更になり、玖波での作業になったため、命拾いをしたという。



長岡 省吾【ながおか しょうご】
明治34(1901)年～昭和48(1973)年
昭和30(1955)年開館の広島平和記念資料館初代館長として、現在につながる礎を築いた。写真:長岡省吾収集 広島平和記念資料館提供

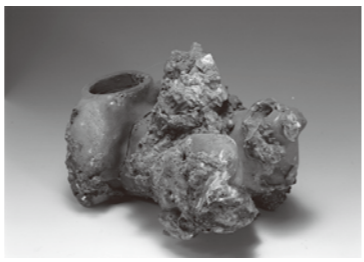
翌日の早朝、家族の制止を振り切り、広島市内へと向かった。車窓から見える街並みは、己斐に近づくにつれ全壊の様相を呈していた。己斐駅で下車し、一面焼け野原に姿を変えた広島を茫然とした面持ちで、上を茫然とした面持ちで、とぼとぼと歩く人、大火傷で見るも無残な姿になった人、そこかしこに折り重なった死体の山。どうすることもできない無力さを感じながら、地獄絵巻と化した中をさまよった長岡さんは、疲れ果てていた。気がつく

と8時半、護国神社の鳥居の前に立っていた。
昭和25年発行の広島鉄道局機関紙『ひろしま第34号』に寄せた手記には、「もう歩くことができない。入口の燈籠に腰を下ろした。とたんに掌に針でさしたような痛みを感じた。よく見ると、花崗岩の表面が溶けている。『アッ!』と驚ろいた。何度も見返したが、間違いなく溶けている普通ではない。特殊な爆弾だと感じた」。高熱で表面がトゲのように変化した石と出合った衝撃が

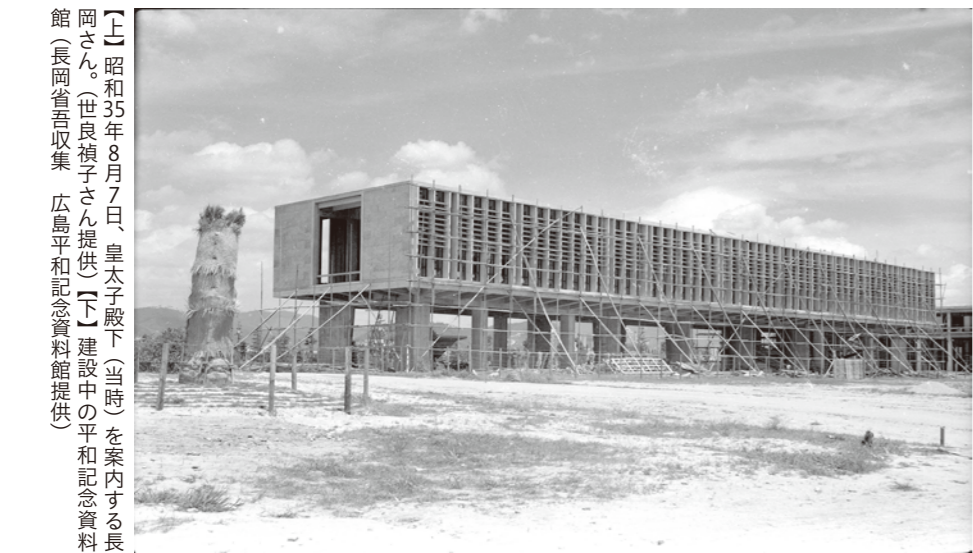


ピカドンの爪痕を今に伝える

被爆後の廃墟と化した街を撮影。T字型の相合橋の下流には、変わり果てた産業奨励館(原爆ドーム)。川向うには本川国民学校の建物が見える。(米軍撮影 広島平和記念資料館提供)



【上】丸瓦【中】付着した急須と陶器
【下】自転車(3枚とも長岡省吾寄贈 広島平和記念資料館所蔵)



【上】昭和35年8月7日、皇太子殿下(当時)を案内する長岡さん。(世良禎子さん提供)【下】建設中の平和記念資料館(長岡省吾収集 広島平和記念資料館提供)

づられている。
10時に大学にたどり着くと建物は全焼しており、長年収集してきた資料や化石鉱物類も焼けてポロポロになっていた。

焼け跡の石を拾い集めて

この日を境に、長岡さんの暮らしは一変する。地下足袋にゲートル、リュックを背負い広島に通う日々となった。朝早くから夜遅くまで、何かに取りつかれたかのように焼け跡に転がる石や瓦を拾い集めた。はたから見ると何の価値もないような石を自宅に持ち帰って来る。ときには、家族も同行して手伝ったという。

自宅の中は、それらでいっぱいになり、やがて外にもあふれ出す。「放射能を浴びたようなものをためこんで」と、近所から苦情が出るようになった。家族のことを心配した母は、「そんな危ないものは早くのけてください」と父に懇願していたと世良さんは話す。それでも、後世に原爆の恐ろしさを伝えなければならぬとの強い信念が、長岡さんを突き動かしていたのだろう。



変形したビールびん(長岡省吾寄贈 広島平和記念資料館所蔵)



父の著書を開き、思い出を語る娘の世良禎子さん。

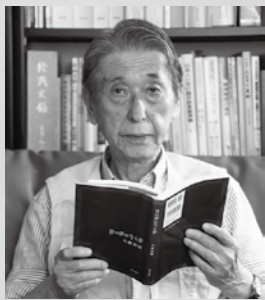
念願の資料館の開館

昭和24年に成立した「広島平和記念都市建設法」。この法律により爆心地に近い一帯を平和記念公園として整備することになった。公園建設のコンペで選ばれたのは、広島で青春時代を過ごした、建築家の丹下健三さんだ。コンペ案に基づき、公園内に平和記念資料館が建設され始めたが、資金難にあえぎ工事がストップすることもあった。4年半かけて、ようやく昭和30年8月24日、念願の資料館の開館にこぎ着け、長岡さんは、初代の館長に就任した。

開館後、国内外から数多くの要人を迎え、自ら館内を案内した。6年半の館長時代も核を取り巻く世界情勢の影響や、あくまで現物の展示にこだわる長岡さんと市との意見の相違など、苦労は絶えなかった。



被爆資料収集作業をする長岡さん。(長岡省吾収集 広島平和記念資料館提供)



渡辺 晋(天瀬 裕康)さん
昭和6年呉市生まれ、著書に『停下来、悪夢の明日』『楳原季之の文学空間』『ジュノ一記念祭』ほか

昭和37年、資料館を去った長岡さん。その後、長らく表舞台から姿を消したように見えた。資料館にある膨大な被爆資料も大部分は、長岡さんが収集し寄贈したものだと思われる。しかし、長岡さんからのものだと、はつきりと分かるものは、ほとんどない。

戯曲で長岡さんを書きのこす

渡辺 晋(天瀬 裕康)さん

戯曲なら、そういうこと
に不自然なく

が横たわり、そして片っぱしから死んでいった。渡辺さんは、呉でも火傷でズルむけになった死体を目にした。しかし、それとは違う、何とも言えない臭いだった。75年経った今でも忘れられないと話す。その経験をもとに、天瀬裕康名義で『異臭の六日間』という短編小説を著した。

並の人ではない男の物語
そんな渡辺さんが、縁あって大竹で開業医となり、

1冊の本がある。『昔の夢は今も夢』という戯曲集だ。その中に収められた一編『石を集めて』は、長岡さんと家族をモデルにした戯曲である。創作したのは、天瀬裕康のペンネームを持つ渡辺晋さん(88歳立戸)。自身も原爆の惨状を目撃した一人だ。

記憶に残る異臭

当時、渡辺さんは、県立呉第一中学校(現・県立呉三津田高校)の2年生。7月1日の

のこされた被爆資料を寄贈

昭和37年、資料館を去った長岡さん。その後、長らく表舞台から姿を消したように見えた。資料館にある膨大な被爆資料も大部分は、長岡さんが収集し寄贈したものだと思われる。しかし、長岡さんからのものだと、はつきりと分かるものは、ほとんどない。

平成25年4月、新聞に長岡さんの名前が大きく報じられた。没後42年を経て、自宅にのこされていた瓦や竹などの実物、写真やフィルム、印刷物など1万1893点もの被爆資料が、資料館に寄贈されたのだ。寄贈された資料も含め、現在、長岡さんの功績を振り返る企画展が開催されている。

主任学芸員の落葉裕信さんは、「戦後、誰も見向きもしないような石ころなどを集め調査、研究した功績は大きい。長岡さんがいなかったら、現在の資料館は違った姿だったかもしれない」と話す。昨年、リニューアルオープンした資料館は、展示内容も大幅に見直された。それは、被爆資料が訴える力を信じた長岡さんの

意志を受け継いだもの
に思われる。

生涯かけて働いた人

晩年は原爆症に苦しみながらも陶芸を趣味としたそう。土や石に触れることが生きる証だったのかも。孫の三家本佳苗さん(65歳 玖波)は、「夏休みの自由研究は、おじいさんの家にある石を標本にしていた」とほほえむ。

「入院後も病院を抜け出し、資料館に足を運んでいた。生涯をかけて働いた人」。そう言っていて、世良さんは目を潤ませる。

「私にとっては、いいお父さんでした。怒られたことは一度もありません」。世良さんは、長岡さんの焼いた



陶器をいとおし
ながら見せてくれた。

主な参考資料

- 『HIROSHIMA 原子爆弾による被害状況』長岡省吾
- 『原爆 広島を復興させた人びと』石井光太
- 『ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾』佐藤真澄
- 『よみがえった都市—復興への軌跡 原爆市長 復刻版』浜井信三
- 『戦後ヒロシマの記録と記憶 小倉馨のR・ユンク宛書簡 (上)』若尾祐司・小倉桂子
- 『生死の火 広島大学原爆被災誌』広島大学原爆死没者慰霊行事委員会
- 『父と暮せば』井上ひさし
- 『広島鉄道局機関誌 ひろしま第34号』
- 中国新聞2015年4月20日・4月21日
- テレビ新広島報道特別番組『ヒロシマを遺した男 ~原爆資料館誕生物語~』

被爆75周年企画展

『広島平和記念資料館のあゆみ 第1部 礎を築く 初代館長 長岡省吾の足跡』

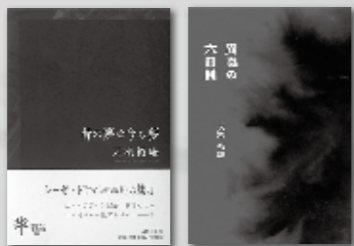
とき 令和3年2月23日(祝・火)まで
ところ 広島平和記念資料館・東館
1階企画展示室
入場料 無料

ヒロシマの
爪痕を
今に
伝える

市立図書館では、『平和図書コーナー』を設けています。
『ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾』(佐藤真澄)や『原爆 広島を復興させた人びと』(石井光太)の本もあります。
【22ページ】

創作活動をする中で、地元で初代の平和記念資料館館長がいたことに興味を覚えた。長岡さんは既に亡くなっており、「書きのこす」とが、一つの供養になるのでは」と考え、戯曲を書き上げ、平成21年に文芸誌に発表した。

小説ではなく戯曲とした理由を「家族や知人など、登場人物も多く、また、時間的な場面転換もある。短編小説では、その説明をするだけでも盛りだくさんになっちゃう。」



『昔の夢は今も夢』
『異臭の六日間』
両著とも天瀬裕康
(近代文藝社)

ミニミニ原爆展をはじめ平和に関する資料などを展示します。

核兵器、そして戦争は私たちのささやかな日常を一瞬で奪います。

戦後75周年を迎えるに当たり、「平和」の意味を一緒に考えてみませんか。

とき

8月1日(土)～31日(月)

※閉館時を除く。

ところ 総合市民会館ロビー

「平和へのおもい」開催

内容

・原爆関連のパネル写真などの展示

・大竹港海外引き揚げの記録DVD上映

・大竹海兵団に関する資料の展示

・原爆・戦争・平和に関する図書の紹介 ほか

(毎年行っている市内児童生徒が作成した平和ポスター、中学生交歓交流事業の参加生徒による感想文の展示は、新型コロナウイルスなどの影響により今年はありません)

来場時のお願い

新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策を実施の上、開催します。来場に当たっては、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

・会場内ではマスクを着用してください。

・展示をご覧になる際は、他の来場者と一定の距離(ソーシャルディスタンス)を置くよう努めてください。

・こまめな手洗い、アルコールなどによる手指消毒を心がけてください。

・来場時の検温などは行いませんので、当日体調がよくない場合(発熱・せき・いん頭痛などの症状がある場合)や、体調に少しでも不安のある場合は来場を控えてください。また、次の場合も来場を控えてください。

- ①同居家族や身近な知人に感染症が疑われる人がいる場合
- ②過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域などへの渡航、または当該国・地域在住者との濃厚接触がある場合

祈りを込めて鶴を折る

「原爆の日」に、総合市民会館前で挙行される平和祈念式典に献納する折り鶴。その折り鶴を玖波6丁目自治会の女性グループ『すみれ会』の女性たちが、年明けから折り始め、およそ半年をかけて千羽を折り終えた。

新型コロナウイルスの影響で、みんなで集まることもなかなか進まなかったが、ようやく完成した色とりどりの鶴を前にして喜びもひとしお。

7月6日、6丁目集会所で、式典に出席する市原爆被爆者協議会の井上智都さんに、千羽鶴を託した。

千羽鶴には、被爆体験のあるメンバーの手記や川柳も添えられた。

グループの代表、西川節子さんは、「核兵器の無い平和な社会が、永遠に続きますようにと、祈りを込めて折りました」と語った。

「平和へのおもい」

感想ノートから

※一部抜粋(年齢は記入当時)

○人間とは神にも悪魔にもなれる存在。それは自由意志を与えられているから。戦争をしないという明確な選択をする事が重要。(58歳)

○Let peace begin with me and from me.(共に始めよう、私から始めよう、平和を。)(年齢不明)

○今の僕達が生きていられる

問い合わせ

企画財政課 ☎592125

ということとは昔の人が本当の平和を願ったからだ。その人達がいなければ今の僕達はいません。今、自分達ができる事を考えよう。行動しよう。(13歳)

○父は3年間北支(中国)で闘い、腕に砲弾片を残したまま生還し、戦地の話はずいぶん聞きました。人間の死に馴れてしまう怖さを聞きました。なんでも多数決の怖さ、少数意見の大切さ。(年齢不明)

○世界中から戦争が早くなくなりますように。一人一人は何をすればいいのか。無関心にならず、流されず、自分の考えを持って毎日生きていきたい。(54歳)

原爆に関する写真・資料などのウェブ展示
当日展示する写真や資料などの一部を市ホームページで公開しています。



戦後、大竹港には41万人もの人が、外地から引き揚げてきました。



昨年開催した「平和へのおもい」パネル展示。



【上右】献納する千羽鶴は、西川さん(右)から井上さんに手渡された。【上左】コトコツと折った色とりどりの鶴【下】千羽鶴を前に『すみれ会』の皆さん。

被爆二世の皆さんの入会を

問い合わせ

原爆被爆者協議会(中原宅) ☎577049

被爆75年を迎え、被爆者が年々減少していく中、被爆者の想いを後世に継承していくことが難しくなっています。市原爆被爆者協議会では、

会の存続のためにも被爆二世の皆さんに入会をお願いしております。入会希望者の方は市原爆被爆者協議会(中原宅)まで連絡してください。

原爆死没者追悼 平和祈念式典

問い合わせ
原爆被爆者協議会（中原宅） ☎577049

8月6日木
8時▶9時

原爆慰霊碑「叫魂」前（総合市民会館前）
※雨天の場合は総合市民会館2階ホール



「大竹ヒロシマの日」として平和祈念式典が開催されます。今年新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小します。一般の方の参加はご遠慮ください。また、今後の感染状況によっては開催内容などに変更の可能性があります。



原爆の日・終戦記念日に 黙とうを

今年8月6日に広島市、8月9日に長崎市に原爆が投下されて75年の節目の年です。また、8月15日の終戦記念日には、東京で全国戦没者追悼式が行われます。原爆や戦争で死没された人々の冥福と世界の恒久平和を祈って、1分間の黙とうを捧げましょう。原爆の日、終戦記念日には、

広島市	8月6日(木)	8時15分
長崎市	8月9日(日)	11時2分
終戦記念日	8月15日(土)	12時

防災無線でサイレンを鳴らします。

黒い雨体験者 相談・支援事業

問い合わせ
県被爆者支援課
☎082-513-3109

原子爆弾投下直後に降った黒い雨により、現在も健康に不安をお持ちの方で希望する場合、保健師などが相談に応じます。

対象

被爆者健康手帳、または第一種健康診断受診者証が交付されておらず、広島県などが被爆地域の拡大を求めた左図の地域内で、原爆投下直後に黒い雨を体験し、現在



も健康不安をお持ちの県内在住（広島市を除く）の方
内容
県保健師による自宅などへの個別訪問相談など
申し込み
県被爆者支援課へ。

保険証が届いていない方
宛先不明で届いていない場合がありますので、保健医療課に連絡してください。
また、保険証を紛失された場合、再交付の手続きが必要です。印鑑と免許証など顔写真付きの本人確認ができる身分証明書を持って、保健医療課、または支所で手続きをしてください。

国保ミニ知識

必ず、届け出が必要です！
就職や退職などで、
保険証が変わったとき

○就職したとき
会社などから保険証を受け取ったら、保健医療課、または支所に、できるだけ早く届け出てください。届け出がないと社会保険などに加入したことが、市では分かりません。そのため、国保に加入したままになり、保険料がかかり続けます。

○退職したとき

会社などから資格喪失証明書を取得して、証明書の発行日から14日以内に届け出てください。必要な書類などがそろってれば、その場で保険証を発行します。ただし、代理人の場合は、委任状がなければ、自宅へ郵送することになります。

**保険証が変わったら、
すぐに医療機関に連絡を！**

会社などに就職し、社会保険などに加入したら、加入日を確認し、現在治療を受けている医療機関に、すぐに連絡しましょう。

社会保険などに加入後、国保の保険証を使用した場合は、自己負担以外の医療費部分（窓口で3割支払っていた場合は、残りの7割部分の医療費）を返納していただくことになります。

こんなときはどうするの！

☑就職して社会保険に加入したけど、
すぐに保険証が届かず、しかたなく国保の保険証を使ってしまいま

した。この場合も医療費の返納の対象になりますか。
△返納の対象になります。事前に会社で社会保険などの加入証明書を発行してもらうか、医療機関などの窓口で事情を説明してください。自己負担分以外の医療費は加入している医療保険者が負担しますので、加入資格を確認し正しく保険証を使用してください。

会社の都合などで職場を退職したとき

会社の倒産や解雇、雇用期間満了などの理由で職場を退職した、65歳未満の方の国民健康保険料を届け出ることによって一定期間軽減する制度があります。ハローワークで交付する「雇用保険受給資格者証」、「保険証」、「印鑑」を持参して、保健医療課、または支所で手続きをしてください。

交通事故にあったとき

交通事故など、第三者から傷病を受けた場合、必ず保健医療課に連絡をし、「第三者行為による傷病届」を提出してください。本来、治療費は加害者が支払うものですが、一時的に国保が立て替え払いをし、あとから加害者に請求します。また、示談をされる場合は、示談の前に必ず保健医療課に相談してください。

8月1日から 保険証・受給者証が 新しくなりました。

- 紫色** 後期高齢者医療被保険者証
- 橙色** 国民健康保険被保険者証
- 橙色** 国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証

問い合わせ 保健医療課 ☎59-2141

後期高齢者医療保険に
加入している方！

新しい紫色の被保険者証が後期高齢者医療広域連合から7月下旬に郵送されています。

国民健康保険（国保）に
加入している方！

新しい橙色の被保険者証（保険証）を7月下旬に郵送していますので確認してください。70歳以上の方の保険証は被保険者証兼高齢受給者証と表示しています。